

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 22 年 6 月 17 日 (2010.6.17)

【公開番号】特開 2009-71582 (P2009-71582A)

【公開日】平成 21 年 4 月 2 日 (2009.4.2)

【年通号数】公開・登録公報 2009-013

【出願番号】特願 2007-237837 (P2007-237837)

【国際特許分類】

H 0 3 F 3/20 (2006.01)

H 0 4 R 3/00 (2006.01)

【F I】

H 0 3 F 3/20

H 0 4 R 3/00 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成 22 年 4 月 23 日 (2010.4.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2 つの端子間にオーディオ信号を出力し、前記 2 つの端子のうち一方が接地されているオーディオ信号源と、

このオーディオ信号源の 2 つの端子が入力側に接続され、出力側の 2 つの端子に前記入力側と絶縁された状態で前記オーディオ信号が生成される絶縁入力手段と、

この絶縁入力手段の前記出力側の 2 つの端子から前記オーディオ信号が入力され、これを増幅して、絶縁トランスを用いずに 2 つの出力端子から高電圧で出力する電力増幅手段と、

この電力増幅手段の 2 つの出力端子間に、互いに並列に接続された複数のスピーカと、非接地の 2 つの電源端子を有し、これら 2 つの電源端子から前記電力増幅手段に対して動作電力を供給する直流電源手段とを、

具備し、前記絶縁入力手段の一方の端子と、前記電力増幅手段の一方の出力端子と、前記直流電源手段の一方の電源端子とが、互いに接続されて、前記接地の電位とは異なる、前記絶縁入力手段、前記電力増幅手段及び前記直流電源手段に対する共通電位点とされて、この共通電位点の電位を基準電位として前記絶縁入力手段、前記電力増幅手段及び前記直流電源手段が動作する構内放送システム。

【請求項 2】

請求項 1 記載の構内放送システムにおいて、前記絶縁入力手段が、一次側巻線が前記オーディオ信号源の 2 つの端子間に接続され、二次側巻線が前記出力側の 2 つの端子に接続されている変圧器によって構成されている構内放送システム。

【請求項 3】

請求項 1 記載の構内放送システムにおいて、前記絶縁入力手段が、前記オーディオ信号源からのオーディオ信号に基づいて発光する発光手段と、この発光手段からの光を受けて電気信号を発生する受光手段とからなる構内放送システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の一態様の構内放送システムは、オーディオ信号源を有している。オーディオ信号源は、2つの端子間にオーディオ信号を出力し、前記2つの端子のうち一方が接地されている。このオーディオ信号源の2つの端子が絶縁入力手段の入力側に接続されている。絶縁入力手段は、出力側の2つの端子を有し、この出力側の2つの端子間に、前記入力側と絶縁された状態で前記オーディオ信号が生成される。この絶縁入力手段の前記出力側の2つの端子から前記オーディオ信号が電力増幅手段に入力される。電力増幅手段は、入力されたオーディオ信号を増幅して、高電圧で2つの出力端子から出力する。この電力増幅手段は、出力側がトランスレスの（絶縁トランスを用いていない）ものである。この電力増幅手段の2つの出力端子間に、互いに並列に複数のスピーカが接続されている。前記電力増幅手段に対して動作電力を直流電源手段が供給する。この直流電源手段は、2つの電源端子を有し、これら2つの電源端子から電力増幅手段に動作電力が供給される。前記絶縁入力手段の一方の端子と、前記電力増幅手段の一方の出力端子と、前記直流電源手段の一方の電源端子とが、互いに接続されて、前記接地の電位とは異なる、前記絶縁入力手段、前記電力増幅手段及び前記直流電源手段に対する共通電位点とされて、この共通電位点の電位を基準電位として前記絶縁入力手段、前記電力増幅手段及び前記直流電源手段が動作する。